

平成 28 年度  
教科に関する科目  
家 庭

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号, 氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 『小学校学習指導要領解説 家庭編』(平成20年8月)の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容」の「D 身近な消費生活と環境」には、下の事項が示されている。

(2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。

ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。

この事項に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 「物の使い方などを工夫できる」とはどのようなことかを具体的に書きなさい。
- (2) 環境に配慮した生活の工夫を日常生活の実践につなげるにはどのような学習活動が考えられるか、指導上で配慮すべき点を二つ挙げ、さらに学習活動の具体例を二つ書きなさい。

問2 「小学校学習指導要領」（平成20年文部科学省告示第27号）「第2章 第8節 家庭」の内容「C 快適な衣服と住まい」の「(2) 快適な住まい方」の「イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。」については、「主として暑さ・寒さ、通風・換気及び採光を取り上げること。」と記されている。これに関連する次の問いに答えなさい。

- (1) 『小学校学習指導要領解説 家庭編』（平成20年8月）では、「季節の変化に合わせた生活の大切さ」の指導事項として、「昔と今の住まいを比べるなどの活動を取り入れるなどして、冷暖房機器にたよる生活を見直し、日光や風など自然の力を効果的に活用する方法について考え、健康の視点から自然を生かした住まい方の大切さが分かるようにする。」と記されている。夏季の自然の力に対応した日本の昔の住まい・住まい方における工夫点を三つ挙げ、それらについて具体的に書きなさい。
- (2) 通風と換気はともに空気の流れることであるが、それぞれの目的は異なる。通風と換気の目的について具体的に書きなさい。
- (3) 自然換気が起こる仕組みを二つ挙げ説明し、自然換気の効果を高めるための住まい方の工夫を二つ書きなさい。